

大阪大学の研究成果の実用化を目指し、研究成果の実用化に関心を示す民間企業との契約・本格的協働につなげることを目的とした支援制度。

本事業のポイント

前制度(UICギャップファンド)の焦点を明確化し、発展

事業可能性のフィードバックを重視した2つのプログラム

- 共同研究・ライセンス支援プログラム
- 創業支援プログラム
- ※起業支援は別グラントを準備

学内外の専門家や専門機関の連携による様々な支援活動

審査段階において、外部有識者のコメントを踏まえた実用化の方向性選択に役立つ情報を提供する

- 産学連携本部による事業化ニーズ調査、研究成果の実用化に関心を示す企業との交渉等を通じて、契約締結・本格的協働を達成するための要件を明らかにする
- 研究開発費ならびに、市場調査費・特許調査費を助成

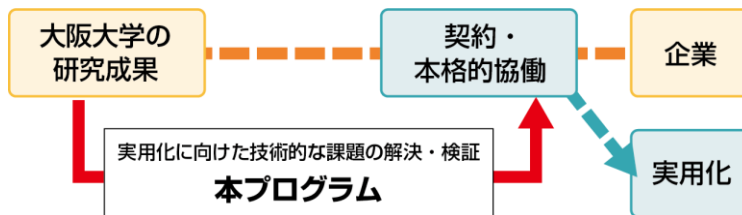
取組実績

平成23年度から前制度(UICギャップファンド)を実施し、これまでに自主経費での取組も含め、例えば、右記のような成果につながっている。

1. 学内公募回数: 累計6回
(平成24年度は年2回公募)
2. 応募課題数: 累計163課題
3. 採択課題数: 累計63課題
(採択率38.7%)

4. これまでに採択された課題の実用化進捗状況
 - (ア) 民間企業との共同研究契約の締結件数: 累計41件
 - (イ) 民間企業への知的財産権の実施許諾契約件数: 累計: 6件
 - (ウ) 大学発ベンチャー設立: 累計3社
 - (エ) 実用化に向けた競争的資金の獲得: 累計33件
 - 例1: JST・大学発新産業創出プログラム(START)
 - 例2: 経済産業省・医工連携事業化推進事業

本事業の目指すイメージ



申請要件・スケジュール

共同研究・ライセンス支援プログラム

- 資金規模**
- ・ 1課題250万円以内
- 申請者の要件**
- ・ 大阪大学の教職員であること
 - ・ 本制度を通じた研究成果の実用化に意欲があること
- スケジュール**
- ・ 公募: 10月
 - ・ 第1段階審査: 11月
 - ・ 第2段階審査: 12月
 - ・ 助成期間: 最長1年間

創業支援プログラム

- 資金規模**
- ・ 1課題数百万円以内
- 申請者の要件**
- ・ 大阪大学の教職員であること
 - ・ 本制度を通じた研究成果の実用化に意欲があること
- スケジュール**
- ・ 公募開始: 10月
 - ・ 随時受付
 - ・ 助成期間: 最長1年間

採択者の声

● 医学系研究科の研究者より
循環器内科(心臓カテーテル治療)領域における医療機器開発に際し、平成25年度ギャップファンドの支援をいただきました。資金は開発機器の評価システム構築、並びにブタでの動物実験費用に充てさせていただきました。さらに翌年、この際の結果をもとに経済産業省が進める平成26年度医工連携事業化推進事業に採択いただくことができ、現在も複数の企業とコンソーシアム形式で開発を継続しております。Gap FundがProof-of-Concept段階の資金として大きな役割を担いました。

● 薬学研究科の研究者より
JSTの平成26年度大学発新産業創出プログラム(START)申請計画について多方面からご指導頂きSTARTの採択につながったうえに、採択から研究開始までの期間に予備検討の費用をサポートして頂き、研究開始時からトップスピードにてSTARTを推進できました。